

世界が進むチカラになる。



経済調査

東海経済見通し

2024年12月23日

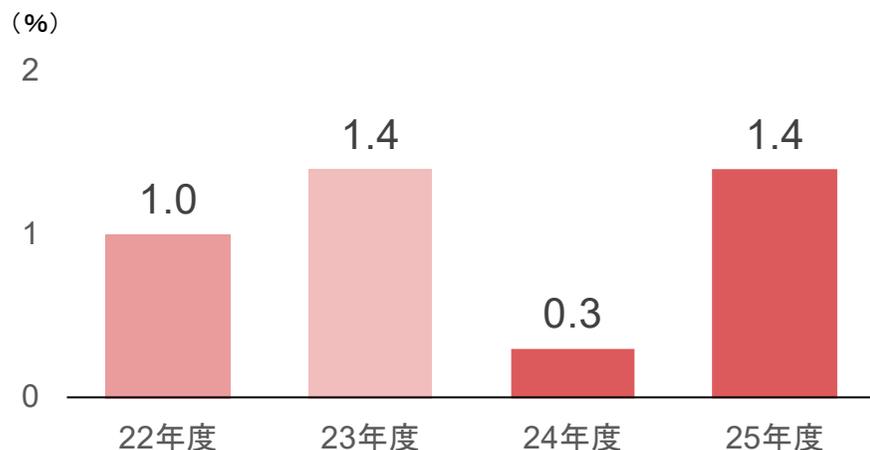
調査部 主任研究員

塚田裕昭

東海経済見通し(全体像)

- 24年度の実質成長率は、前年比+0.3%と見込まれる。設備投資が堅調に推移するものの、自動車の認証不正問題による生産停止があったことが影響し、全国を下回る低い伸びに留まろう
- 25年度は、自動車生産が正常化し、前年の低成長の反動もあって、全国を上回る+1.4%の成長を見込む。設備投資、輸出が増加に寄与する

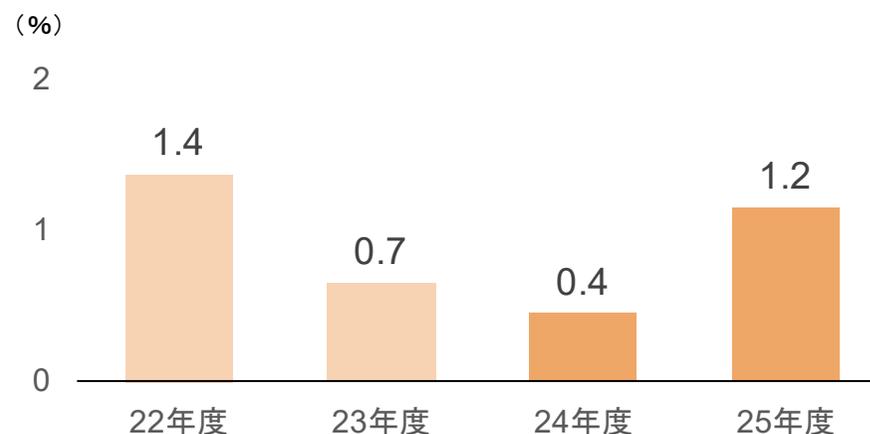
東海の実質成長率



(注)東海3県(岐阜、愛知、三重)

22、23年度は当社推計、24、25年度は当社予測

全国の実質成長率



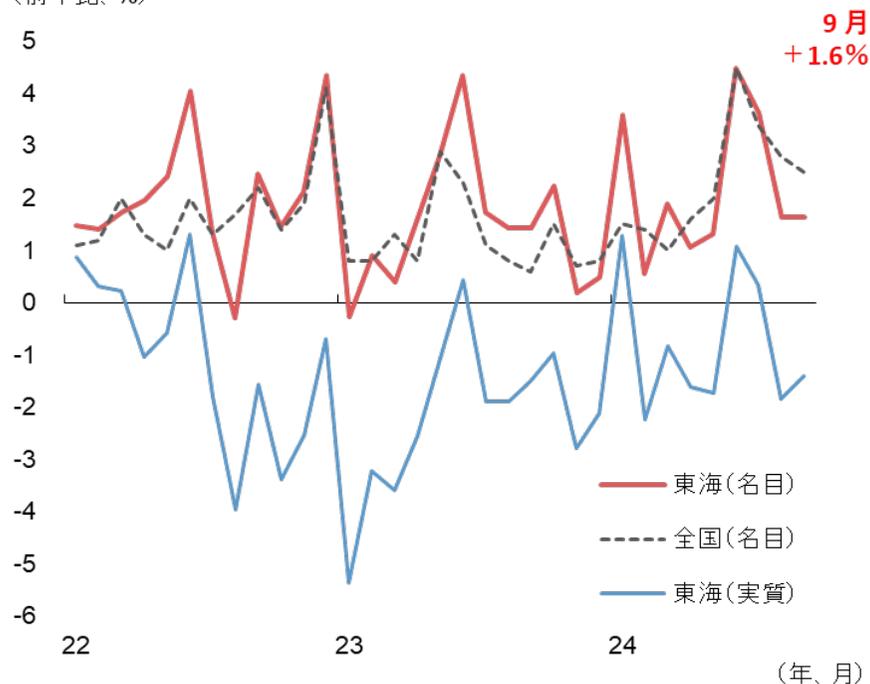
(注)22、23年度は実績、24、25年度は当社予測

個人消費①

- 24年度の賃金動向は、名目での増加が続く中、実質ベースでもプラスとなる局面も現れるようになり、持ち直している
- 所得環境の持ち直しにより、個人消費も持ち直している。小売店販売は、インバウンドの好調が寄与している面もあるが、実質でもプラスとなる局面も現れてきている

東海の賃金動向

(前年比、%)

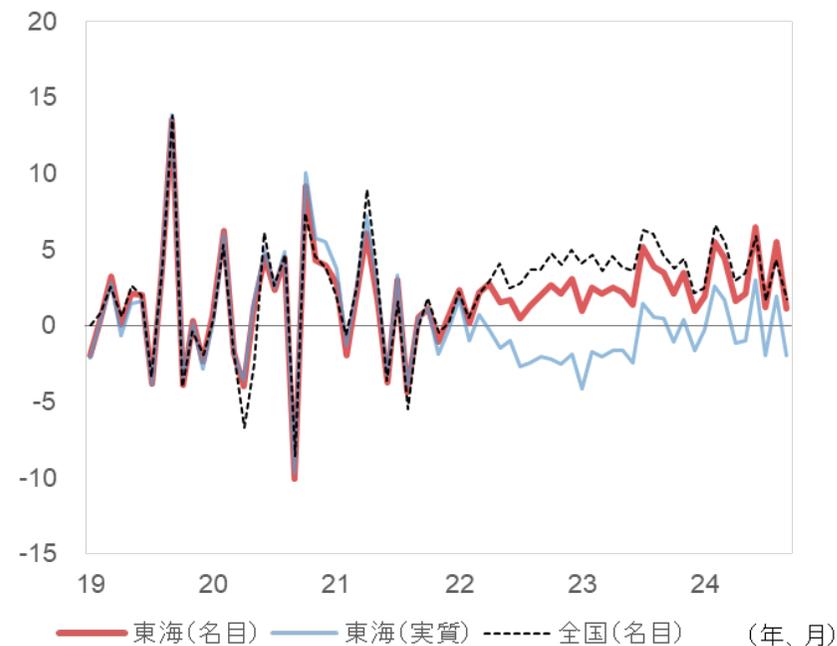


(出所) 東海3県の名目賃金指数(現金給与総額)、常用雇用者指数よりMURC作成

(注) 「持家の帰属家賃を除く総合(東海)」で実質化

東海の小売店販売動向

(前年比、%)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」からMURC試算

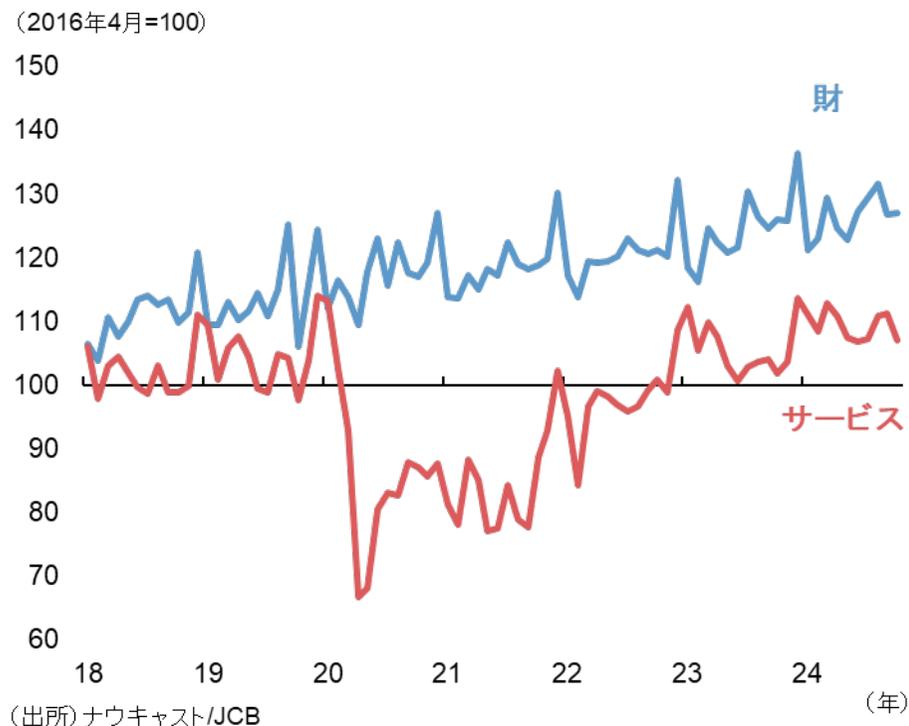
(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

「持家の帰属家賃を除く総合(東海)」で実質化

個人消費②

- 財の消費はコロナ禍でも概ね堅調に推移してきた。サービスの消費はコロナ禍で大きく落ち込んだが、23年以降、水準を回復している
- 24年度の個人消費は前年比+0.7%、25年度は同+0.9%を見込む。所得環境の持ち直しが続く中、個人消費も持ち直すものの、物価上昇、先行きの不透明感からの節約志向の高まりもあり、伸び率は1%を下回る程度に留まろう

東海の財・サービス消費動向



東海の個人消費

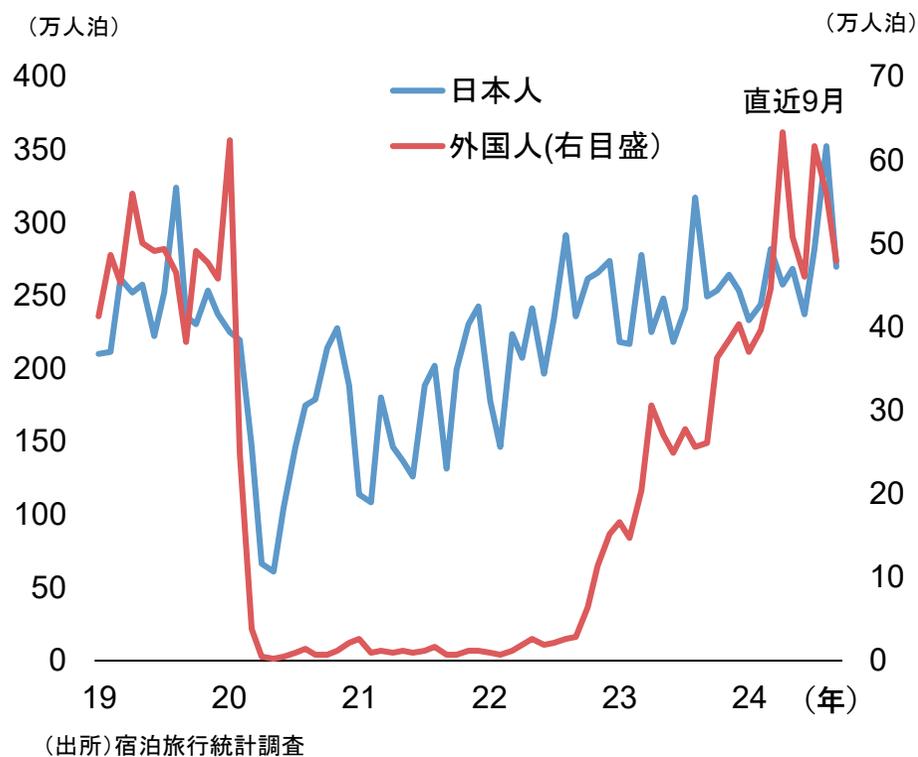


(出所) 内閣府資料よりMURC作成
(注) 22、23年度は実績推計値、24、25年度は予測値

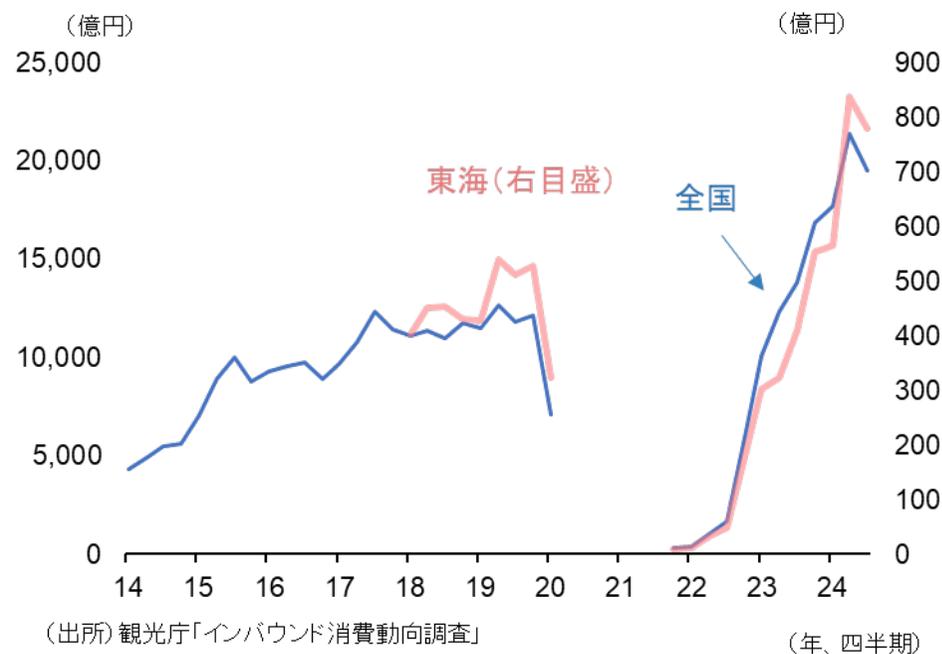
インバウンド消費等

- 24年度に入り、東海3県の延べ宿泊者数は、日本人、外国人ともに過去最高を更新。振れを伴いながらも増加基調で推移している
- 訪日外国人旅行消費額は、外客数の増加に加え、円安、物価高の影響もあって、コロナ前を大きく上回る水準まで増加してきている

東海の延べ宿泊者数



訪日外国人旅行消費額

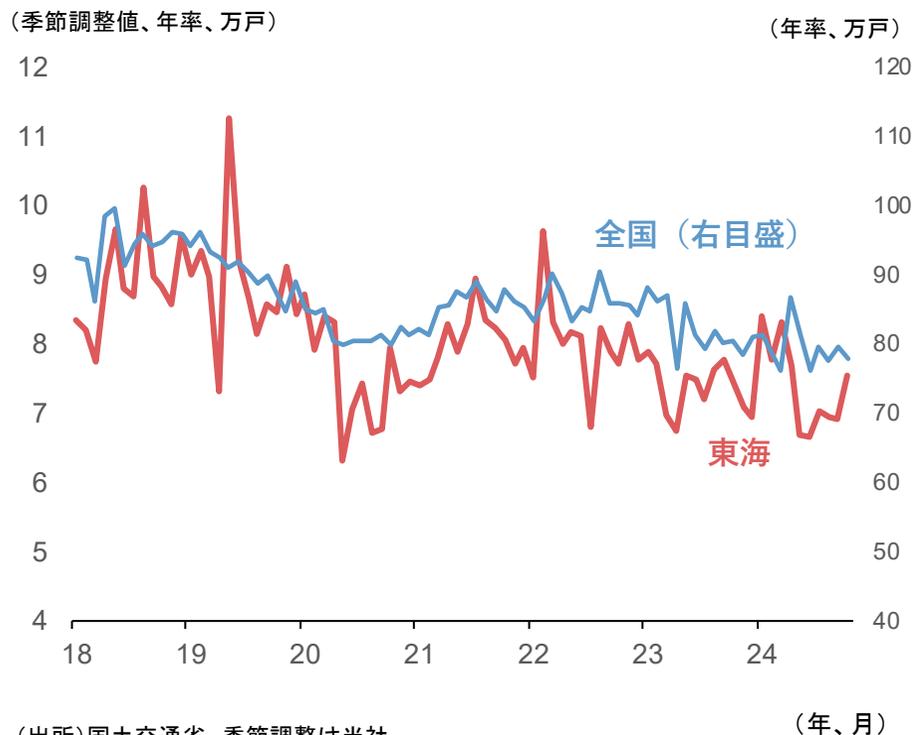


(注) 同調査は20年6月期から21年9月期までは調査中止
24年9月期以降の東海はMURC推計

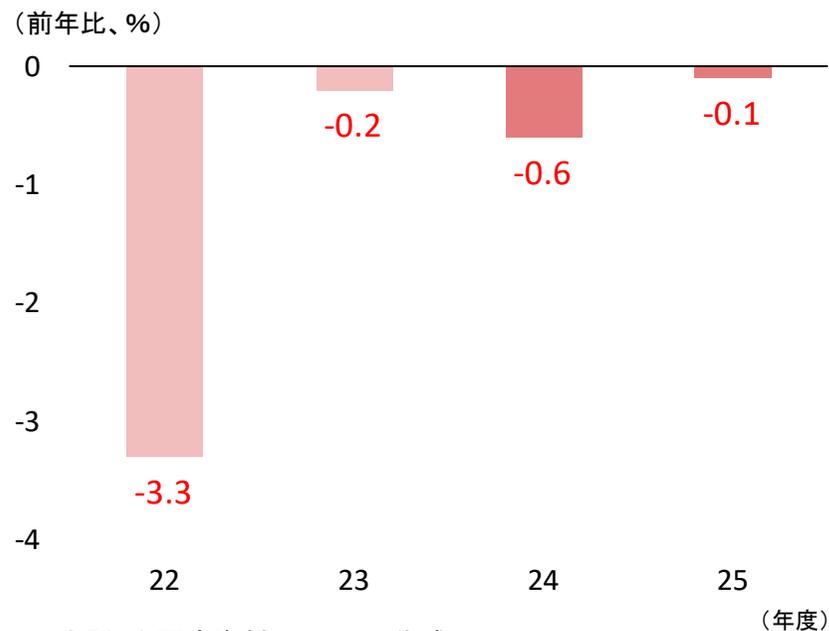
住宅投資

- 住宅着工は振れを伴いながら、概ね横ばい圏で推移している。人口減、世帯数減というトレンドの下、住宅着工は、中長期的には、横ばい圏から減少基調で推移しよう
- 東海の住宅投資は、24年度は前年比 -0.6% 、25年度は同 -0.1% と減少が続くと見込まれる

東海の新設住宅着工件数



東海の住宅投資



(出所)内閣府資料よりMURC作成

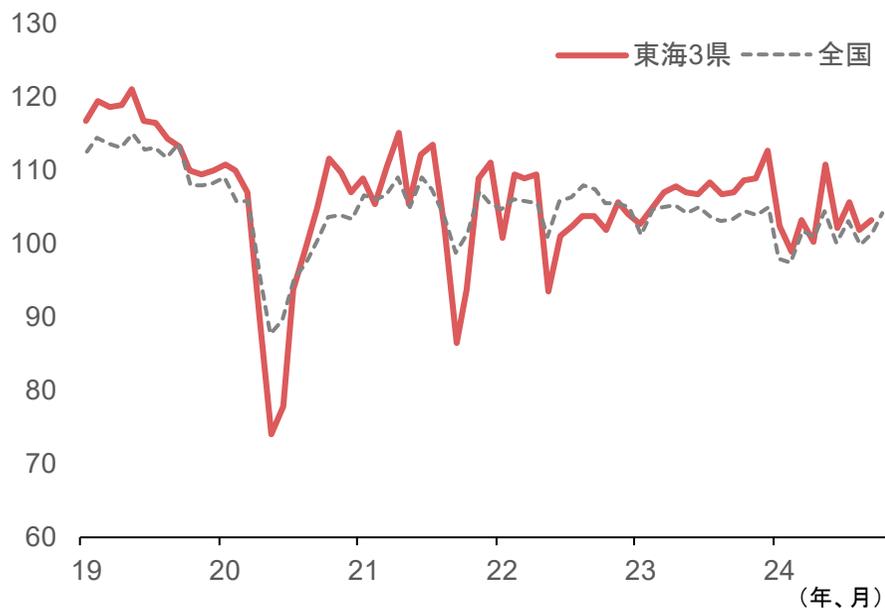
(注)22、23年度は実績推計値、24、25年度は予測値

生産

- 東海の実産は、5割弱のウエイトを占める輸送用機械の動向が基調を決める。24年度の輸送用機械の生産は、認証不正問題による生産停止の影響で水準を下げた。現状、輸送用機械の生産は正常化されているが、汎用生産用業務用機械の生産が減少傾向を辿っていることもあって、24年度の東海の実産は前年度比-1.0%となると見込まれる。25年度は、同+2.5%とプラスに転じる見込みである

鋳工業生産

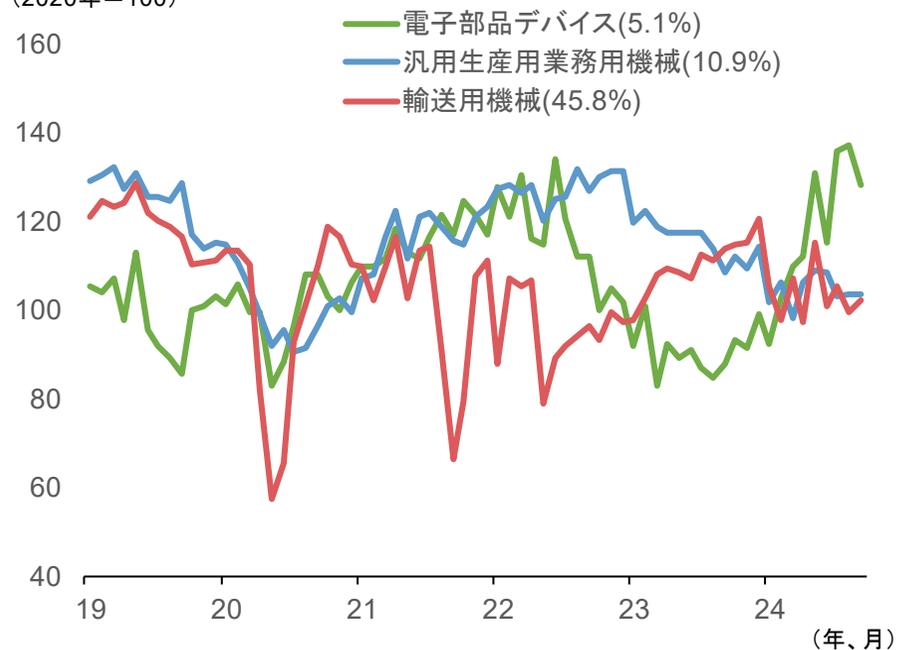
(2020年=100)



(出所) 経済産業省「鋳工業生産動向」

東海の実産の機械類の生産

(2020年=100)

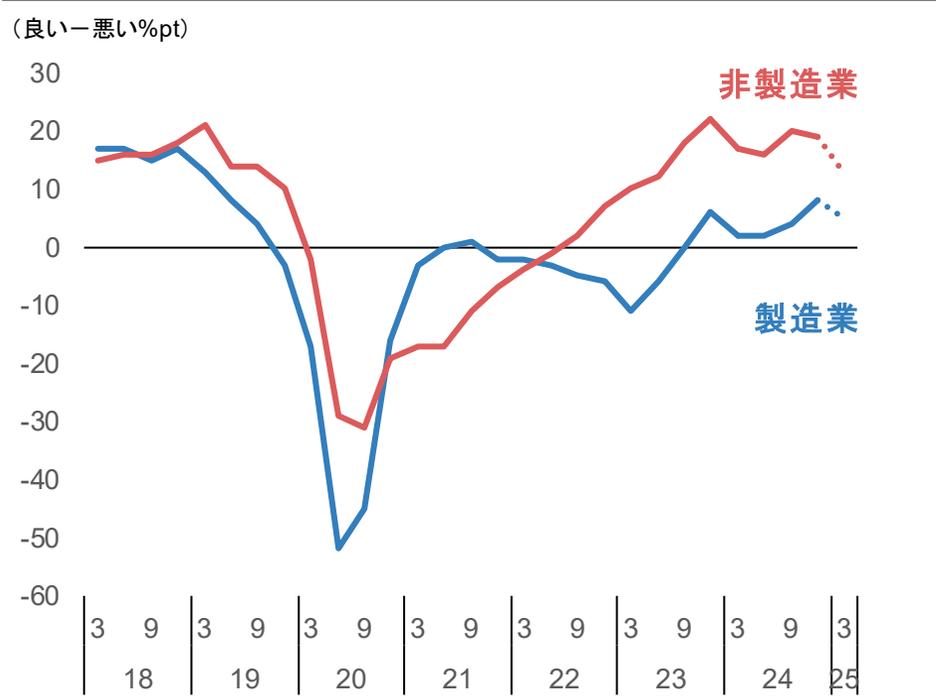


(出所) 経済産業省「鋳工業生産動向」
(注) 凡例カッコ内の数字は生産ウエイト

企業景況感

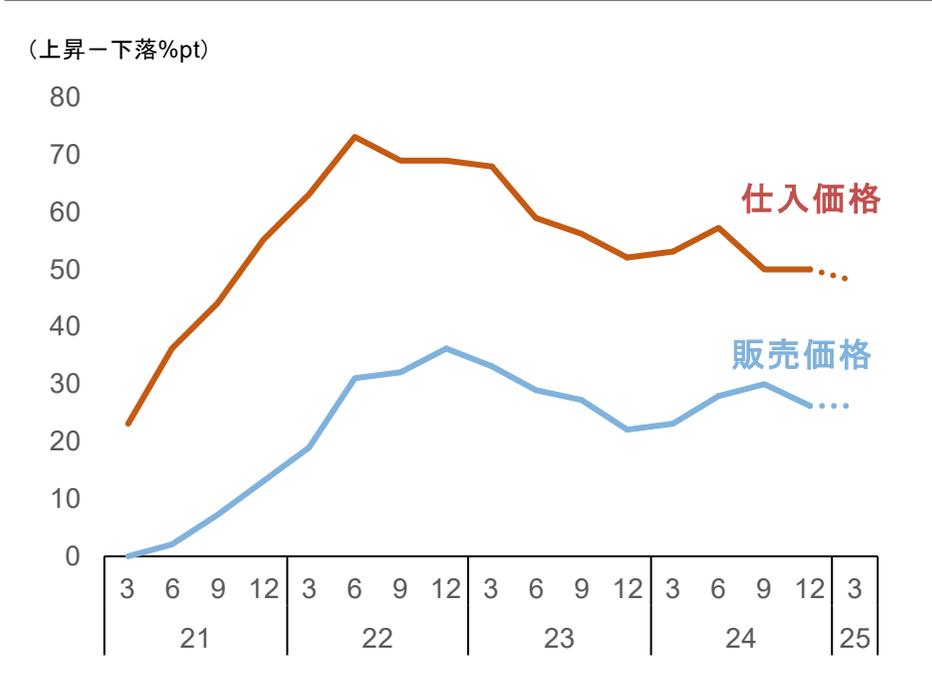
- 業況判断DIは「良い」超が続いており、非製造業が製造業を上回る水準で推移している。製造業は自動車の生産停止の影響で頭打ちとなっていたが、生産再開により水準を上げてきている。逆に非製造業は、物価上昇による節約志向の高まりから、頭打ちとなっている
- 仕入価格、販売価格とも上昇超が続いているが、共に上昇超幅は低下しており、仕入価格と販売価格の上昇度合の差が縮小している

東海企業の景況感(日銀短観)



(出所)日銀短観、点線は先行き (年、四半期)

東海製造業の価格判断DI



(出所)日銀短観、点線は先行き (年、四半期)

設備投資

- 設備投資は、高水準の計画が策定されており、企業の投資意欲は強い。維持更新のための投資に加え、能力増強投資もあり、自動車のEV化推進に向けた研究開発投資、人手不足に対応した機械化投資などが出てきている

東海の設備投動向

(前年比、%)

(年度)

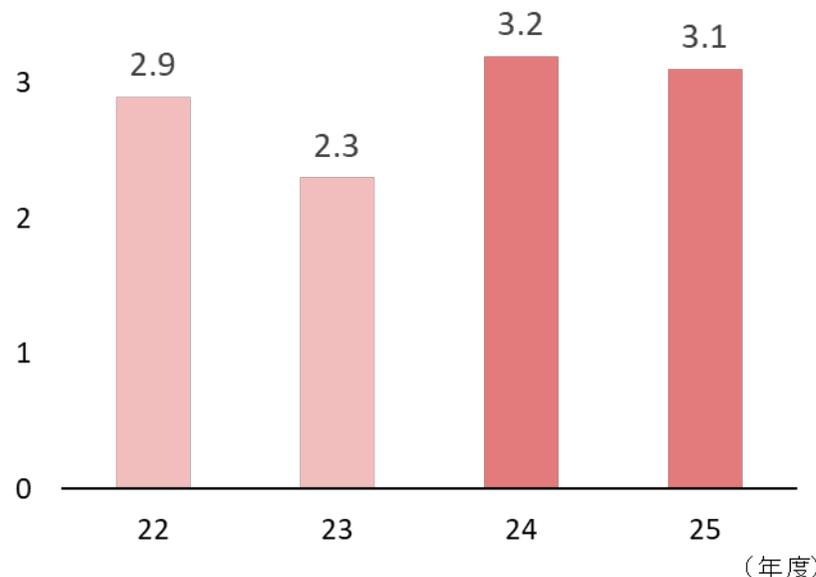
		22 実績	23 実績	24 計画
日銀短観		5.8	6.2	10.5
	製造業	8.4	7.3	10.1
	非製造業	▲1.2	2.8	12.0
政投銀調査		3.7	14.3	22.6

(注)短観は、ソフトウェア・研究開発含む、除く土地投資

東海の設備投資

(前年比、%)

4



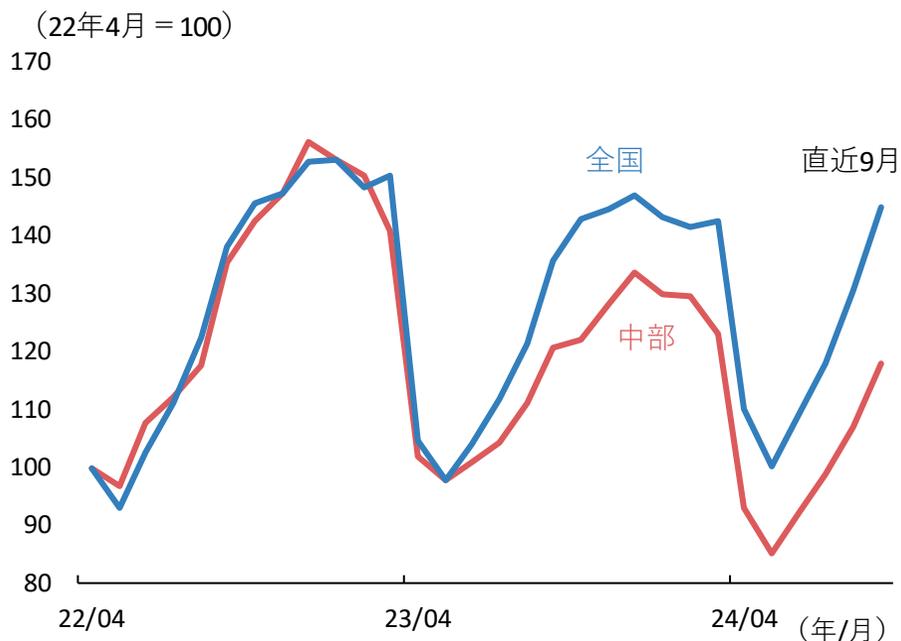
(出所)内閣府資料よりMURC作成

(注)22、23年度は実績推計値、24、25年度は予測値

公共投資

- 24年度の東海の公共投資は、請負金額の動向をみると例年を上回る水準となっているが、「建設総合統計」で進捗ベースの動きをみると、直近9月の時点では前年を下回るペースとなっている
- 24年度の公共投資は、前年比-0.7%と減少が見込まれる。25年度は既発注工事の進展により同+1.3%と増加に転じよう

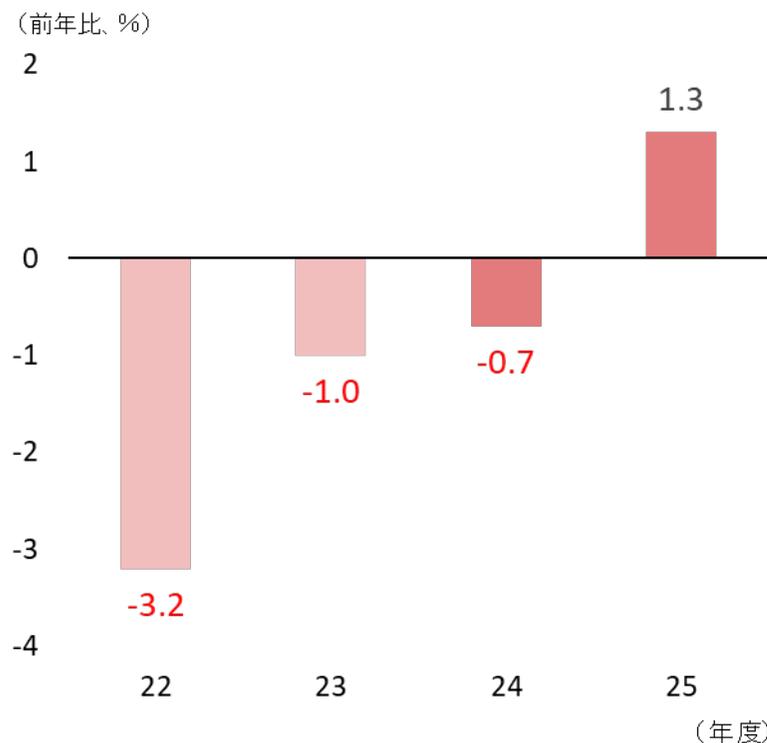
公共投資の水準(月次)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」よりMURC作成

(注) 公共表の月次数値を建設工事費デフレーターで実質化の上、指数化

東海の公共投資



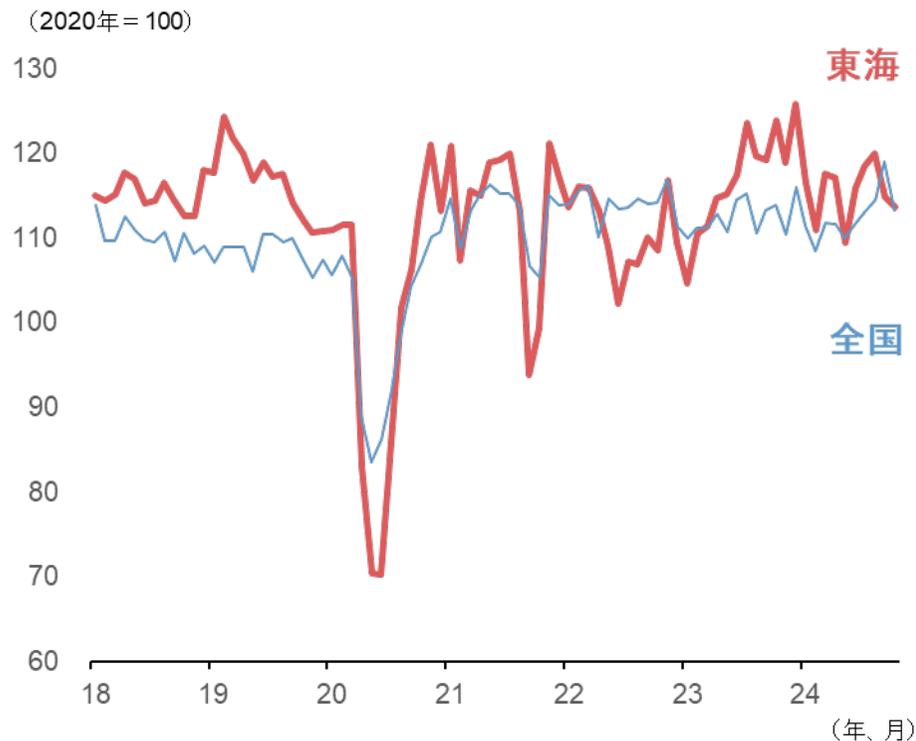
(出所) 内閣府資料よりMURC作成

(注) 22、23年度は実績推計値、24、25年度は予測値

輸出①

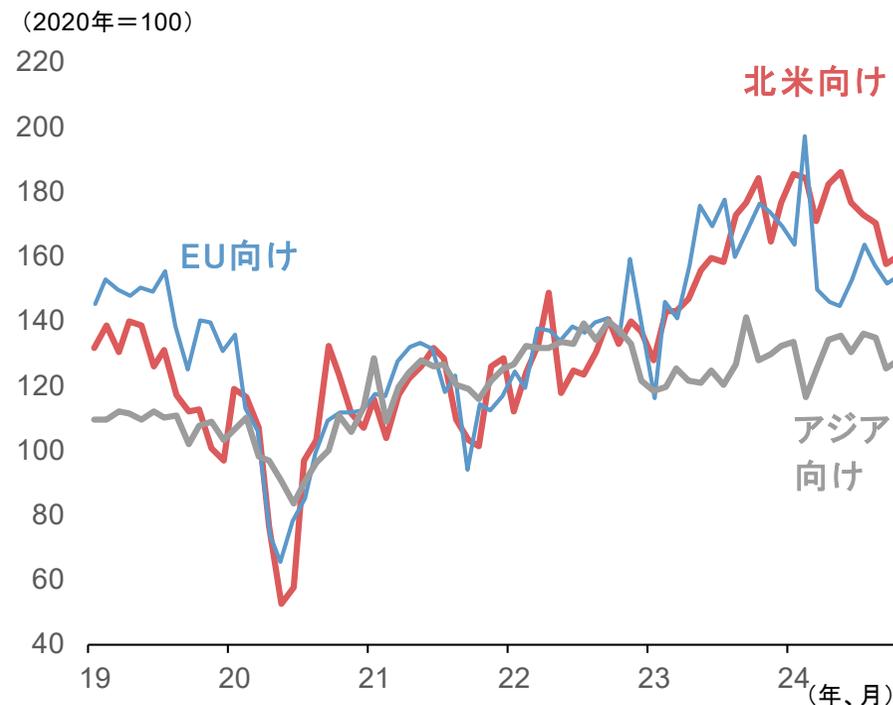
■ 24年度の東海の実質輸出は、自動車の生産停止が影響し、前年比-2.4%の減少が見込まれる

実質輸出(月次)



(出所) 日本銀行

東海の地域別輸出(名目・季節調整値)

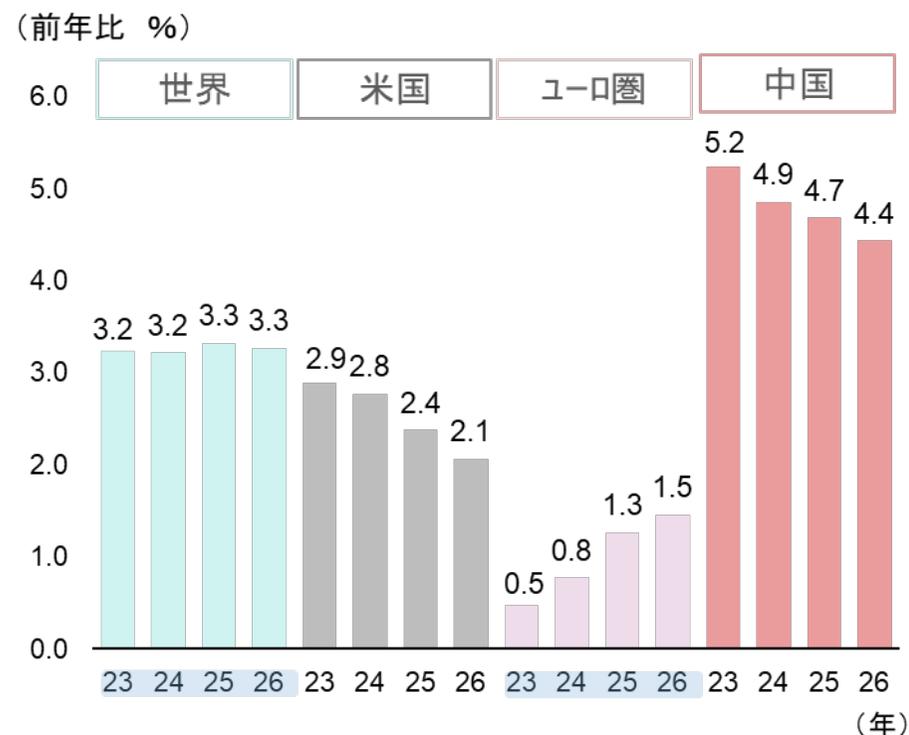


(出所) 名古屋税関、季節調整は当社

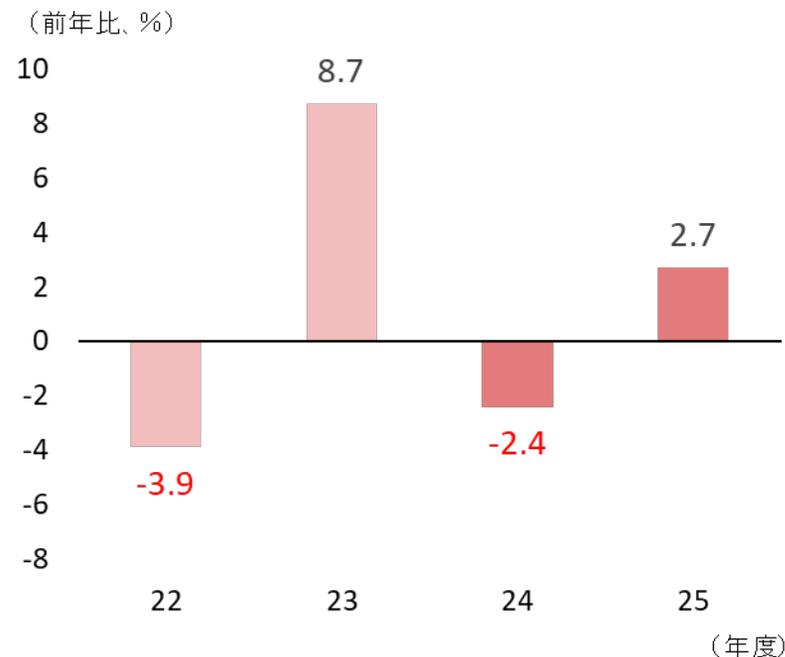
輸出②

- 25年度の実質輸出は、自動車生産・輸出の正常化により前年比+2.7%の増加を見込むが、米トランプ政権の関税政策などリスク要因の影響に留意が必要となる

OECD世界経済見通し



東海の実質輸出



(出所) 日本銀行資料よりMURC作成

(注) 22、23年度は実績。24、25年度は当社による予測

見通し総括表

(前年比、%)

(下段カッコ内は全国)

		22年度	23年度	24年度	25年度
実質GRP		1.0 (1.4)	1.4 (0.7)	0.3 (0.4)	1.4 (1.2)
	個人消費	2.2 (2.6)	▲0.2 (▲0.4)	0.7 (0.6)	0.9 (1.0)
	住宅投資	▲3.3 (▲2.6)	▲0.2 (0.8)	▲0.6 (▲1.2)	▲0.1 (▲0.3)
	設備投資	2.9 (3.6)	2.3 (▲0.1)	3.2 (2.4)	3.1 (2.6)
	政府消費	1.3 (1.1)	▲0.3 (▲0.8)	1.5 (1.4)	0.4 (0.5)
	公共投資	▲3.2 (▲5.5)	▲1.0 (▲0.3)	▲0.7 (1.0)	1.3 (▲0.5)
実質輸出		▲3.9	8.7	▲2.4	2.7

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー